



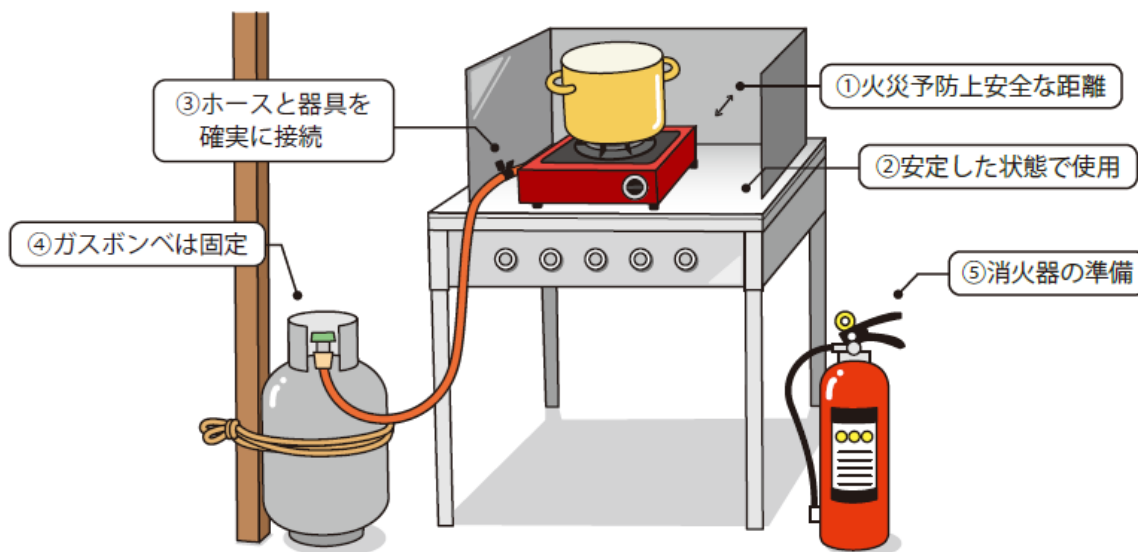
## 露店等開設時の確認事項チェックシート

	確認事項	確認欄
開設場所	消防水利(消火栓、防火水槽等)から5m以内ではない。	
	消防車の進入路付近や、周囲の建物からの避難に支障はない。	
防火管理	消火器の正しい取扱い方法等を確認した。	
	業務用消火器を準備してある。	
火気器具等	安定した不燃性の床などの上に置いてある。	
	近くに可燃物は置いていない。	
液化石油ガス	LPガス用の器具を使い、ゴムホースにひび割れ等はない。	
	LPガスボンベは転倒しないようにしてある。	
	LPガスボンベの設置場所は、火気から2m以上離れているか、不燃材料(12mm以上の石膏ボード等)で遮蔽してある。	
	ゴムホースの接続部には、抜け防止用のバンド等を使用してある。	
カセットこんろ	カセットこんろの正しい取扱い方法等を確認した。	
まき、炭等	使用中は、みだりにその場を離れない。	
	使用後の後始末(消火)を確実に実施した。	
電気器具	水がかかる可能性のある場所の器具は、防水性能を有している。	
	電気配線には、照明器具等の荷重がかからないようにしてある。	
	たこ足配線はせず、許容電流を守っている。	
発電機	発電機の正しい使用方法を確実に理解している。	
	途中で給油しなくても良いようにしてある。	
危険物容器	消防法令に適合したものを正しく使用している。	
	キャップを開ける前には、安全な場所で圧力を抜いてから開ける。	
玩具用煙火	蓋のある不燃性の容器等に入れるか、防災性の物で覆ってある。	
暖房器具	可燃物との距離は十分に保たれていて、使用中は常に人がいる。	
	給油前には必ず消火をする。	
放火防止	露店開設中は、LPガスボンベ等の危険物は毎日持ち帰る。	

# 火気器具やガソリン取扱いの安全ポイント



## 火気器具の取扱いチェックポイント



### ① 火災予防上安全な距離をとりましょう

建築物や可燃物から安全な距離(ガスコンロの場合は約15cm)を保ちましょう。周辺には燃料や可燃物を放置してはいけません。可燃物で風除けを作ってはいけません。

### ② 安定した場所で使用しましょう

不安定な場所には設置をしないでください。また、コンロより大きな鉄板や鍋の使用や、ガスコンロなどを2台以上並べての使用は大変危険です。

### ③ ホースは大丈夫？

ガス漏れ防止のため、器具との接続部分をホースバンド等で締め付け、ひび割れや亀裂がないか使用前に点検をしてください。

### ④ ガスボンベは固定しましょう

火気器具の熱を受ける場所や直射日光の当たる場所は避け、目の届く範囲に置きましょう。倒れないように固定物に固定し、絶対に横置きをしてはいけません。

### ⑤ 消火器は絶対に準備しましょう

簡易的な消火器や水バケツではなく、業務用消火器を準備してください。



## ガソリンの取扱いチェックポイント

### 金属製携行缶を使用しましょう

灯油用ポリエチレン容器にガソリンを入れることは、静電気による引火の可能性が高く大変危険です。必ず、消防法令で定められた金属製携行缶等を使用してください。



### ガソリン補給時にはエンジンを停止しましょう

事前に十分に給油し、発電機等の使用中に燃料の補給が必要ないようにしてください。やむを得ず給油する場合は、必ずエンジンを停止し、近くに人や火気のない安全な場所で、開口前のエア抜きをして取扱には十分に注意してください。特に夏には、ガソリンの温度が上がって吹きこぼれやすくなりますので注意してください。

### ガソリンは適切な場所で保管しましょう

火気や高温部から離れた、直射日光の当たらない換気の良い場所で保管しましょう。金属製携行缶等で貯蔵し、地面に直接置くなど、静電気の蓄積を防ぎましょう。